

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧(環境局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
1	30101010	地球温暖化対策事業	その他	「地球温暖化対策推進計画」に基づき、市民・事業者などの多様な主体の協働により、温室効果ガス排出量削減の取組(緩和策)とともに、温暖化に起因する異常気象等気候変動の影響に対する取組(適応策)を推進します。さらに、2050年の温室効果ガス排出実質ゼロを目指し、気候変動への対応を先導する取組を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市地球温暖化対策推進基本計画の改定 ●脱炭素アクションみぞのち推進会議の発足 ●川崎温暖化対策推進会議のネットワークを活用した協働の取組の推進(会員数:目標100団体のところ112団体) ●かわさきエコ暮らし未来館等を活用した普及啓発の実施(来館者数:目標15,000人のところ、コロナ禍や緊急事態宣言の影響により11,499人) ●「地球温暖化対策の推進に関する条例」に基づく計画書・報告書制度の運用及び優れた取組を行った事業者への表彰の実施(2社) ●優れた環境技術・製品等を認定する低CO2川崎ブランドの運用(認定件数:11件(累計目標96件のところ116件)) ●市域における温室効果ガス排出量の削減割合(目標-20.3%のところ実績-23.6%) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	99,685	125,422	3	P2
2	30101020	環境エネルギー推進事業	その他	脱炭素社会の構築や自立分散型エネルギーの確保に向けて、創エネ・省エネ・蓄エネを組み合わせ、総合的なエネルギーに関する取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民・事業者に対する創エネ・省エネ・蓄エネ設備等設置支援事業の実施(補助件数 市民向け:累計目標8,830件のところ8,542件、事業者向け:累計目標165件のところ151件)(市民向けは令和3年度単独では当初予算を全て執行するなど補助件数が増加)(説明会等により制度の周知を行い取組を推進(会議体等での周知2回、その他市政だより等の広報媒体での周知)) ●共同住宅等への再生可能エネルギー導入調査調査結果を反映した共同住宅向け補助制度の運用 ●公共施設への環境配慮技術の導入促進 ●指標が未達成となったものの、昨年度の補助実績と比較して大幅に増加していることから総合的に判断し、事業の達成度は3 	39,751	49,633	3	P4
3	30101030	次世代自動車等普及促進事業	その他	自動車利用における地球温暖化対策の推進に向け、電気自動車や燃料電池自動車等の次世代自動車の普及やエコドライブの普及に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●国や近隣自治体と連携した次世代自動車の普及促進 ●令和3年6月高津区梶ヶ谷の水素ステーション開設に合わせた普及啓発に向けた運営事業者との調整の実施 ●講習会や啓発事業の実施によるエコドライブの推進(エコドライブ講習会参加者数(累計):目標650人のところ実績670人)(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため講習会を中止し、代替としてエコドライブの実践に係る動画配信を実施(受講証明書発行人数:134人)) ●EVカーシェアリングの実証結果を踏まえた電気自動車の普及促進策の検討 ●脱炭素戦略を踏まえた次世代自動車の情報発信等による普及促進 	5,116	4,611	3	P6
4	30101040	グリーンイノベーション・国際環境施策推進事業	その他	本市の強みと特徴である、環境技術・産業の集積を活かし、国際貢献を果たすとともに、次世代の川崎の活力を生み出し持続可能な社会を創造していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●環境ビジネスの展開支援についての研究会の開催及び事業化アイデアの創出 ●「エコプロ展」等の展示会等への出展(目標6回のところ6回)等を通じた情報発信の実施 	10,891	10,707	3	P8
5	30101050	環境教育推進事業	その他	環境配慮の考え方が定着することにより、市民・事業者・行政が協働して環境保全に取り組むことができるよう、教育プログラム、人材育成、情報発信を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ●環境教育・学習関連の情報を集約した「川崎環境ポータルサイト」を作成し、情報共有を図るなど、環境保全活動の輪を広げる取組の実施 ●環境副読本(小学校用、中学校用)のGIGAスクール対応のための電子化など、環境教育・学習の推進 ●地域環境リーダー育成講座の実施(修了生:15人(累計目標350人のところ372人)) ●環境教育・学習アクションプログラムに基づく総合的な取組を推進 	12,031	11,581	3	P10

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
6	30101080	エコオフィス推進事業	その他	環境配慮契約、グリーン購入等、「地球温暖化対策推進計画」に掲げる市役所の率先取組を推進するとともに、エコオフィス管理システムを活用して進行管理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●エコオフィス研修の実施、高津区役所等公共施設での再生可能エネルギー100%電力の調達を開始する等、市の率先取組をさらに強化(目標-10.8%のところ-2.0%) ●令和3年度グリーン購入推進方針を策定し、全庁へグリーン購入調達の促進に向けた働きかけを実施(目標100%のところ88%) ●環境配慮電力入札の実施、ESCO事業の導入により、環境配慮契約を推進 ●公用車における次世代自動車等の率先導入について、関係部署と予算等の調整を行い、公用乗用車の次世代自動車導入率を100%とする方針とし、地球温暖化対策推進基本計画に盛り込んだ。 ●公共施設の省エネ診断の実施(18施設) ●庁舎等建物内照明LED化に向けた取組を実施(合計52施設のLED化を実施) ●エコオフィス管理システムを国のシステム(LAPSS)を活用するものに移行し、庁内運用マニュアルの配布等を通じて円滑に運用を開始 	484,744	204,354	4	P12
7	30101100	環境総合研究所環境教育推進事業	参加・協働の場	市民団体や企業など多様な主体と連携しながら、環境総合研究所の立地条件を活かして、体験型の環境教育・学習を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●環境学習講座の開催の代わりに、オンライン環境セミナー3回開催等のほか、ビデオ教材を動画配信(環境教育・学習講座等の参加人数:目標600人のところ125人) ●環境学習用冊子「かわさき水辺の生きもの」をホームページで配信 ●環境学習学生サポーター制度のホームページでの広報 ●ホームページを活用した環境学習に関する情報提供 	2,488	598	4	P14
8	30201010	大気汚染防止対策事業	許認可等	工場・事業場から排出される大気汚染物質の排出状況等の監視や、環境基準の達成維持に向けた排出量削減等の取組を進めます。また、建築物等解体作業時の石綿飛散防止対策を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●工場・事業場から排出される大気汚染物質の排出量の監視及び削減指導の実施(報告件数:目標294件のところ実績279件であったが、対象事業場全件に対して実施) ●法条例に基づく届出審査及び立入調査の実施 ●光化学オキシダント及びPM2.5の原因物質であるVOCの削減に向けた事業者向けセミナーの実施(セミナー参加者数:目標160人のところ実績103人であったが、代替の取組として九都県市で連携し、市内VOC排出事業者にリーフレットを活用した普及啓発を実施。) ●光化学オキシダントについて市の取組の成果が把握できる市独自の評価指標の設定及び近隣自治体と連携したVOC実態調査等の実施(光化学スモッグ注意報発令日数:目標0日のところ3日) ●適切な解体等工事の実施に向けた届出審査及び指導による石綿の飛散防止対策の実施 	56,332	60,898	4	P16
9	30201020	有害大気汚染物質対策事業	その他	環境モニタリングを行うとともに、工場・事業場周辺の排出実態調査を行い、環境汚染の未然防止を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●大気汚染防止法に基づく、市内4地点での有害大気汚染物質の環境モニタリング調査の実施(目標年12回のところ実績年12回) ●工場・事業場周辺の有害大気汚染物質の排出実態調査結果に基づく指導・助言の実施(調査実施数:1回) 	5,222	4,851	3	P18
10	30201030	環境大気常時監視事業	その他	環境モニタリングを継続して実施するとともに、新たな環境課題に対する的確な対応を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内全18監視測定局で常時(24時間365日)連続測定の実施 ●放射能関連施設周辺の空間放射線量率、放射性物質濃度等調査の実施(実施件数:年間目標12回のところ12回) ●二酸化窒素の有効測定時間数(目標8,000時間のところ8,193時間) 	139,028	129,901	3	P20
11	30201040	自動車排出ガス対策事業	その他	自動車から排出される窒素酸化物等の削減に向け、低公害車の普及促進やディーゼル車運行規制、国・関係自治体等と連携した対策などの取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●低公害車導入補助の実施(補助台数:24台) ●環境配慮行動メニューのHP等による周知及び改訂 ●ディーゼル車運行規制の遵守に向けた立入検査の実施(立入検査回数:4回) ●エコ運搬制度の運用による、指定荷主・指定荷受人における要請の実施(要請実施件数:114事業所、13,708件) ●ディーゼル車のZEV化の推進に向けた先進的な事例等の調査及び市内事業者への普及啓発の実施 ●産業道路を走行する普通貨物車の最新規制適合車の構成率(目標70%のところ75%) 	11,035	10,538	3	P22

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
12	30201050	水質汚濁防止対策事業	許認可等	河川・海域等の環境基準・環境目標の達成・維持をめざして、法及び条例に基づく工場・事業場の監視・指導を適正に実施するとともに水環境保全の啓発のためのイベント等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「水環境保全計画」に位置付けられている取組の統合・整理による「大気・水環境計画」の策定及び水環境の保全に向けた取組の推進 ●公共用水域の水質調査(目標年12回のところ実績年12回)、生物調査等の実施 ●法条例に基づく工場・事業場の監視・指導の実施(報告件数:目標692件のところ、対象事業場数の減少により実績671件) ●水環境保全に係る普及啓発の実施(目標2回のところ、実績4回) ●河川のBOD、COD環境目標値達成率(目標100%のところ95.8%) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	31,577	32,736	3	P24
13	30201060	土壌汚染対策事業	許認可等	土壌汚染対策のため、法・条例に基づく事業者への指導・助言等を行うとともに、地下水の状況把握及び汚染井戸の継続的監視を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●土壌汚染対策法及び公害防止等生活環境の保全に関する条例に基づく指導・助言の実施 ●水質汚濁防止法に基づく地下水の水質状況の把握(定点調査数:目標9地点のところ実績9地点)、汚染井戸周辺の地下水の水質状況の把握(調査数:26地点) ●水質汚濁防止法に基づく有害物質使用特定事業場等への指導の実施(56件) 	8,622	5,030	3	P26
14	30202010	減量リサイクル推進事業	その他	循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化及びリサイクルを推進するため、各種事業を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●市内の小学校における出前ごみスクールの開催(実施数:目標123回のところ159回) ●廃棄物減量指導員協議会の開催(開催回数:目標34回のところ45回) ●市内の町内会・自治会等を対象としたふれあい出張講座の開催(実施数:目標88回のところ53回) ●生ごみリサイクルリーダーの小学校の環境学習等への派遣(対応人数:目標1,840人のところ1,963人) ●資源物とごみの分別アプリの普及(アプリ閲覧数:目標325,000回のところ1,428,010回) ●ごみゼロカフェの開催(開催数:目標3回のところ3回) ●資源物の拠点回収量(目標132tのところ120t) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	312,834	333,322	3	P28
15	30202020	事業系ごみ減量化推進事業	その他	事業系ごみの減量化・適正処理を図るため、排出事業者への普及啓発・指導を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●3Rに取り組む店舗等に係る認定制度の登録促進(リユース・リサイクルショップの認定店舗数:目標50店のところ54店、エコショップ認定店舗数:目標460店のところ535店) ●事業系ごみの減量化等に向けた多量排出事業者等に対する指導・広報の実施(立入調査実施件数:目標216件のところ218件、事業系一般廃棄物焼却量:目標106,500tのところ93,957t) ●大規模商業施設と連携した食品ロス削減イベントを2回実施するとともに、フードバンクと連携したフードドライブについて、市内7か所の常時回収に加え、ごみ相談窓口や環境イベントの機会を活用して実施(食べきり協力店:目標350店のところ226店) ●一部の指標が未達成となったものの、その他の指標を達成していることから、総合的に判断し、事業の達成度は3 	4,048	3,726	3	P31
16	30202030	資源物・ごみ収集事業	その他	市民生活を支えるライフラインとして、排出された資源物・ごみを安定的かつ安全に収集するとともに、委託化された収集業務についても適正に執行されるよう指導等の取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●資源物等の委託収集の実施 ●普通ごみの直営を基本とし、一部地域において民間委託を活用した収集の実施 ●ふれあい収集の実施 ●家庭系資源物収集量(目標63,000tのところ53,653t) ●普通ごみ収集量(目標229,400tのところ242,283t) ●ごみを安定的かつ安全に収集し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができているため、総合的に判断し達成度は3 	3,506,128	3,490,206	3	P33

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の 達成度	参考資料 掲載頁
						予算額	決算額 (見込)		
17	30202040	資源物・ごみ処理事業	施設の 管理・運 営	分別収集した資源物の中間処理を行い、適正に資源化を行うとともに、焼却ごみについては処理センターにおいて適正かつ安定的に処理を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●資源化処理施設等の整備の方向性に係る検討の実施 ●焼却ごみの適正かつ安定的な処理の実施(ごみ焼却量: 目標344,000t以下のところ348,017t) ●処理センターの運転操作業務の一部委託化の実施 ●放射性物質が検出され保管している灰の安全な保管及び試験的埋立の実施(4,248t) ●環境マネジメントシステムでは、各処理センターにおいて脱炭素化に向けて取り組むなど、環境負荷低減に向けて運用 ●廃棄物発電の有効活用について、地域エネルギー会社の設立に向けて計画を策定 ●家庭系資源物処理量(目標63,000tのところ53,653t) ●ごみを適正かつ安定的に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができているため、総合的に判断して達成度は3 	3,947,620	3,834,929	3	P35
18	30202050	廃棄物処理施設基幹的整備事業	その他	廃棄物処理施設の安定的な運用のため、廃棄物処理施設等の大規模改修を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●浮島処理センター基幹的設備改良工事を継続実施 	3,216,258	3,156,430	3	P37
19	30202060	廃棄物処理施設建設事業	その他	廃棄物処理事業を長期安定的に運営していくため、老朽化した施設について建替等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●橋処理センター建設工事の継続 ●堤根処理センター施設整備計画作成の推進及び環境影響評価手続きの環境現況調査を実施 ●入江崎クリーンセンター整備事業における敷地基礎調査の実施、整備計画作成の推進 	9,212,445	9,139,448	3	P39
20	30202070	廃棄物企画調整事業	その他	地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、3R等を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「一般廃棄物処理基本計画」に基づく3R等の取組の推進(市民1人1日あたりの普通ごみ排出量: 目標407g以下のところ431g、家庭系の資源化率: 目標32.4%のところ26.1%、ごみ焼却量: 目標344,000t以下のところ348,017t) ●EVごみ収集車の今後の活用に向けた検討 ●一般廃棄物処理基本計画(第3期行動計画)の策定 	6,614	5,489	4	P41
21	30202080	余熱利用市民施設・橋RCC運営事業	施設の 管理・運 営	ごみ焼却に伴う余熱を有効利用した余熱利用市民施設の管理運営を行うとともに、橋リサイクルコミュニティセンター(橋RCC)の管理運営を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●指定管理者による管理運営の実施(余熱利用市民施設利用者数: 目標529,000人のところ327,216人、橋RCC利用者数: 16,000人のところ14,733人) ●市によるモニタリングの実施 ●堤根処理センター建替えに伴う堤根余熱利用市民施設のあり方の検討・整理 	211,300	223,540	4	P43
22	30301050	生物多様性推進事業	その他	地域に息づく生き物の生息環境の保全、普及啓発などの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●生き物調査の実施やプロジェクト事業の進捗状況の取りまとめなど「生物多様性かわさき戦略」に基づく事業の推進 ●「生物多様性かわさき戦略」を令和4年3月に改定 ●各種イベントでのパネル展示などによる普及啓発等の実施、また、かわさき生き物マップの運用による市内の生き物情報の発信(かわさき生き物マップへの投稿件数: 目標2,000件のところ415件) 	8,449	6,128	4	P45
23	40204010	スマートシティ推進事業	その他	脱炭素社会の構築に向け、事業者等と連携しながら、より一層のエネルギーの効率的な利用や、市民生活等の利便性・快適性の向上、安全・安心の確保を図るスマートシティの取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートシティに関連するリーディングプロジェクトの推進(8件) ●川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業委員会の開催(1回) ●スマートシティに関連するリーディングプロジェクト実施累計件数(目標28件のところ46件) 	4,311	1,849	3	P47

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和3年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業コード	事務事業名	サービス分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事業費 (千円)		事業の達成度	参考資料掲載頁	
						予算額	決算額 (見込)			
1	10101070	本庁舎等建替事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の中核拠点としての耐震性能を確保するため、建替えの取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●新本庁舎超高層棟新築工事の推進 ●新本庁舎後元棟新築工事の着工 ●第2庁舎解体設計の推進 (当初計画の令和元年度新本庁舎新築工事着手に至らなかったため、全体事業計画に遅れが生じ、完成見込みは当初計画と同じ年度ではあるものの、令和4年度末となっています。) 	6,263,976	6,040,238	4	P●●	①「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を掲載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	市民生活の更なる利便性の向上等を図るため、市内の公衆無線LAN環境の構築を進めるとともに、地域情報の効果的な発信を図ります。公共データを市民サービスやビジネスにつなげるため、オープンデータの公開を進め、その効果的な利活用を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●かわさきWi-Fiの利用範囲の拡張(アクセスポイント数:目標2,400か所のところ実績1,785か所) ●かわさきアプリの運用(アプリダウンロード数:359,707回) ●「イベントアプリ」のサービス提供(民間事業者等登録数:337団体) ●更なるオープンデータの公開(公開データセット数:319件) ●川崎市LINE公式アカウントやAIチャットボットを活用した情報発信 ●簡易版電子申請サービスを活用した行政手続のオンライン化の推進 	19,815	18,311	4	P●●	②市民サービス等の分類を記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場 ○公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他
3	40205020	行政情報化推進事業	その他	「情報化推進プラン」に基づく情報化関連施策の進捗管理を進めるとともに、マイナンバー制度の効果的・効率的な運用や、働き方・仕事の進め方改革に基づいたICTの活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進プランの策定 ●他の自治体等とのマイナンバーによる情報連携の安定的かつ円滑な運用 ●区役所・支所へのマイナビポイント支援窓口の設置及び健康保険証利用の事前登録作業の実施(支援件数:66,034件) ●1,000台のテレワーク専用端末を活用したモバイルワーク・在宅勤務の本格運用開始 ●ICT活用・ワークスタイル検討部会における新本庁舎での機器や回線など環境整備の検討及び全庁への提示 	164,429	143,440	3	P●●	③事務事業の概要を記載
4	40205030	電子申請推進事業	その他	パソコンなどを利用してインターネット上から24時間申請することが可能な電子申請システムの安全で安定的な運用を行い、利便性の高い電子行政サービスを提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●電子申請システムの安定的な運用及び利用者の利便性向上に向けた機能改善の実施(電子申請システムの利用件数:目標172,000件、実績437,158件) ●次期電子申請システムの導入に向けた検討 ●IDC(インターネットデータセンター)の適切な運用 	326,002	323,989	2	P●●	④令和3年度に実施した主な取組の実績を定量的な数字を含めて記載
5	40901010	シティプロモーション推進事業	その他	本市の多様な魅力をさまざまなメディアやブランドメッセージを効果的に活用し、市内外や海外に情報発信するとともに、民間活力を活かした地域資源の発掘や新たな魅力づくり、連携等により、川崎の魅力をより高め、市民のシビックプライドを醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「シティプロモーション戦略プラン」に基づく下記の各取組推進の結果、シビックプライド指標は前年度を上回るも、「愛着」は目標6.5に対し結果5.5、「誇り」は目標5.5に対し結果4.9と、いずれも目標を下回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ●Twitterや動画等を活用した情報発信 ●新型コロナウイルス関連情報発信(動画特設ページ、子どもたちへのメッセージ等) ●ブランドメッセージポスターの制作及び市内全域への展開 ●都市ブランド推進事業の実施支援 	32,505	23,514	4	P●●	⑤令和3年度の予算額及び決算額(見込)を記載
6	40901020	国際交流推進事業	イベント等	海外からの視察受入や国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●瀋陽市との姉妹都市提携40周年を記念した市長親書の交換、両市の高校生によるオンライン青少年交流等を実施 ●ウーロンゴン市に対し、川崎ジュニア文化賞受賞者等によるビデオメッセージを制作し、送付するなどの交流を実施 	37,229	23,532	3	P●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	50101060	地方分権改革推進事業	その他	自主的・自立的な行政運営に向けた取組を推進するため、国に対して事務・権限の見直し等に関する提案を行います。また、県・市間の事務・権限の見直し等に関する協議を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●他の指定都市等と共同で提案を行うなど、地方自治体が協調した取組の推進 ●新たな地方分権改革の推進に関する方針の改訂 ●国等に指定都市市長会や九都県市と連携し要望活動を実施 	724	737	3	P●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載
8	50102010	広聴等事務	公聴及び相談・苦情申し立ての聴取等	車座集會での市長と市民との直接対話のほか、手紙、FAX、メールなどの身近な手段により、市政に対する声を広く収集します。また、市政に対する市民の意識を調査するため、市民アンケートを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ●車座集會の実施(実績:年2回/目標:年8回) ●市長への手紙による市民の声の収集(実績:年4,059件/目標:1,200件) ●市民アンケートの実施(実績:年2回/目標:年2回) ●広聴等業務に係るスキルアップ研修の実施(効果を感じた受講者の割合 実績:86%/目標:80%) 	8,309	10,868	4	P●●	